

【アイドリングストップ支援機器 別紙1 記載例】

上限台数:1事業者、5台まで。
(但し、蓄熱マット等は1事業者3台まで。)

※各事項についてもれなく記入してください。

受付窓口にて記入。

請求明細書に記載されている金額(税抜き)単価をそれぞれ記入。

国の補助制度を受けているときは“有”に○印。
※“有”の場合は全ト協分の補助対象外です。

◎補助金額の計算について
※1,000円未満切捨。各機器種類による補助上限金額有。

①No. 1 蓄熱マット等 対象額15,000円の場合
東ト協のみ=(15,000×1/2=7,500円)→7,000円
≪蓄熱マット等 1/2額か、上限15,000円の低い方≫

②No. 2 蓄熱マット等 対象額33,500円の場合
東ト協のみ=(33,500×1/2=16,750円)→15,000円
≪蓄熱マット等 1/2額か、上限15,000円の低い方≫

③No. 3 エアヒータ 対象額85,500円の場合
全ト協のみ=(85,500×1/2=42,750円)→42,000円
≪エアヒータ 1/2額か、上限60,000円の低い方≫

④No. 4 車載バッテリー式冷房装置 対象額250,000円の場合
全ト協のみ=(250,000×1/2=125,000円)→60,000円
≪車載バッテリー式冷房装置 1/2額か、上限60,000円の低い方≫

別紙1
アイドリングストップ支援機器 車両別請求内訳
会社名 **株式会社 ☆☆輸送**
導入営業所名 **本社営業所**

平記 載 不 月 要 日

No.	アイドリングストップ支援機器導入機器内容					装着車両内容		
	導入機器 (該当機器を○印で囲む)	メーカー名 機器名(型式)	補助対象経費 本体購入価格 (税抜)	トラック協会 請求金額(円)	導入日	国の補助 制度利用 有無 (注1)	車両型式 (PK-, BDG-等)	登録番号
1	蓄熱マット等	A社 あったかマット (SW-EP3)	15,000	7,000	H29.6.4	有 ○ 無	PB-	品川100あ △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
2	蓄熱マット等	B社 ホットマット (HOK-AB)	33,500	15,000	H29.6.26	有 ○ 無	PA-	品川400い △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
3	蓄熱マット等	C社 エアヒータ (K-34Z)	85,500	42,000	H29.7.7	有 ○ 無	ADG-	品川100い △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
4	エアヒータ	D社 バッテリ式クーラー (626E)	250,000	60,000	H29.7.20	有 ○ 無	PKG-	品川100か △△△△
	車載バッテリー式冷房装置							
5	エアヒータ	計	124,000			無	-	
	車載バッテリー式冷房装置							

機器対象のメーカー名、機器名・型式を記入。

該当の機器の種類を○印で囲む。

注1) 国の補助を受けた場合、全ト協補助分は対象外。

補助金合計額を記入。(【様式1】1. 請求金額と同じ額)

※ 補助台数は1社5台まで。但し、蓄熱マット等は1社3台まで。また、車両1台につき機器は1台まで。

◎エアヒータ・車載バッテリー式冷房装置の補助を受ける場合は“別紙 誓約書”の原本を添付してください。